



いなほ

茎崎学園 茎崎中学校便り
令和3年1月8日発行
No.11

目標を立て、充実した生活を！！

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、気持ちも新たに希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。令和3年(2021年)が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう御祈念いたします。

また、本年も本校の教育活動の推進に変わらぬ御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、「1年の計は元旦にあり」と言いますが、生徒たちは新年を迎え、何か目標を立てたでしょうか。人は少し先の夢や希望をもつことで、努力を継続していくことができます。今のままでも魅力ある茎中生ですが、それぞれが持っている金剛石の原石のような才能に磨きをかける1年にしてほしいと思います。まだ目標を立てていないという人は、ぜひ、短期の目標と長期の目標を、この1月中に考えてみてください。

そして、今日からの残り3か月は学年のまとめと進級・進学に向け大切な時期となります。特に9年生にとっては、それぞれの進路を決める受験が控えています。気持ちが不安定になったり、風邪やインフルエンザ等も流行ったりする時期ですが、自分を信じ、健康管理をしっかり行っており、もてる力を十分に発揮できるように準備をしてほしいと思います。また、7・8年生にとっては、新しい学年に向けて力を蓄え、準備する期間となります。これまでの自分を振り返り、良いところはさらに伸ばし、足りないところは自分で決めて改善できるよう、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。我々職員も一丸となって、生徒一人一人を全力でサポートしていきます。



今の学習の仕方を見直してみましょう

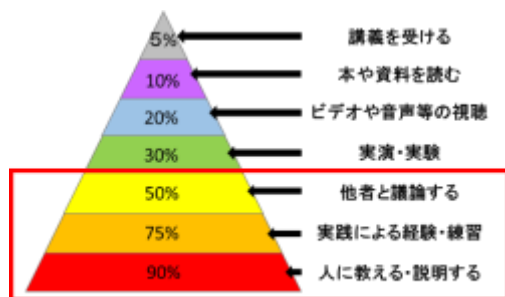
近年、子どもたちの「学力」を高めるためにはどうしたらよいかが話題となっていますが、本校でも、以前から生徒の学力向上が課題の一つにあげられています。そこで、今回は学力向上に必要な要件である「**学習の量**」「**学習の質**」「**学習の仕方**」について書いてみたいと思います。

① 学習の量について

学力向上を図ろうと思った時に、真っ先に思い浮かぶのは学習時間の確保です。実際に、学習時間と学力や成績の間には明確な相関があります。しかし、睡眠や食事などの基本的な生活の時間、学校にいる時間を除くと、子どもたちが自由に使える時間は意外に少なく、その中で学習時間を増やしていくことは容易なことではありません。そこで大切なのは余暇の時間を削ったり、すきま時間を見つけたりといった、**生活を主体的にコントロールする力**を身につけていくことです。そのためには、まずは机に向かう時間を決める、学習計画表を作成してみるなど、自分の生活時間の見直しから始めていくことが必要です。

② 学習の質について

同じ学習の量であれば、学習の質が高いほど、当然、学力向上に効果があります。では、学習の質を高めるためにはどうしたらよいのでしょうか。アメリカ国立訓練研究所の研究によると、学習方法と平均学習定着率の間には、図のような関係があるそうです。これを見ると、受動的な学習より、**自発的・能動的な学習の方が学習の定着率が高い**ことが分かります。つまり、実技科目で実際に自分の手や体を動かして感覚をつかむことが技能の習得に有効なように、暗記項目を脳に記憶させる場合でも、ただ教科書を読んだり、映像を視聴したりするだけでなく、書き取り・音読・練習問題といった作業を取り入れることが有効です。このことは実際に本校でも「主体的・協働的な学び」として「体験的・問題解決的な学習」や「グループでの学び合い」を重視して取り組んでいるところです。



ラーニングピラミッド

③ 学習の仕方について

ドイツの心理学者エビングハウスによれば、人間の記憶は意味のないものでは20分後に42%忘れ、1日後には67%忘れ、6日後には75%忘れてしまうそうです。そこで、覚えたことを忘れないようにするためには次のことが大切です。①覚えようとする内容に興味を持つ。意味付けをする(語呂合わせや好きなものと関連付ける)。②定期的に復習を重ねる(授業後1日以内、1週間以内、1か月以内に復習すれば記憶は復活するそうです)。③一度にたくさん学ぶよりも、時間をかけて何度かに分けて学んだ方が、学習効率は上がる。

上記の3つを参考に、学習の仕方を見直し、家庭学習に役立ててください。

※新型コロナウイルスの感染がまだ拡大しています。引き続き下記のことについて御協力をお願いします。

- ・感染症の疑いがある場合は、休業日(学校がお休みの日)でも(kuj298@tkb.ed.jp)に御連絡をお願いします。
- ・休業日も含めて、毎日の検温(LEBERへの入力)をお願いします。